

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	2015年3月20日から2025年3月14日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米国の取引所に上場（上場予定を含みます。）している不動産投資信託または不動産投資法人が発行する優先証券に実質的に投資します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	
主要投資対象	当ファンド	NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）およびマネー・リクイディティ・マザーファンドを主要投資対象とします。
	NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	NB・OAM優先リート・マザーファンドへの投資を通じて、米国の金融商品取引所等（これに準じるものを含みます。）に上場している不動産投資信託および不動産投資法人が発行する優先リートを主要投資対象とします。また、普通リートにも投資することがあります。
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マネー・リクイディティ・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

米国優先リートオープン （毎月決算型）（為替ヘッジあり）

第85期（決算日 2022年4月15日） 第88期（決算日 2022年7月15日）
第86期（決算日 2022年5月16日） 第89期（決算日 2022年8月15日）
第87期（決算日 2022年6月15日） 第90期（決算日 2022年9月15日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「米国優先リートオープン（毎月決算型）（為替ヘッジあり）」は、2022年9月15日に第90期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第85期～第90期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			ICE BofA REIT Preferred Securities Index		債券組入比率	投資信託証券比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
61期(2020年4月15日)	7,079	20	△ 2.5	475.375	2.7	0.4	97.3	239
62期(2020年5月15日)	6,853	20	△ 2.9	480.990	1.2	0.4	97.5	231
63期(2020年6月15日)	7,574	20	10.8	489.449	1.8	0.5	97.9	249
64期(2020年7月15日)	7,338	20	△ 2.9	493.890	0.9	0.5	97.7	241
65期(2020年8月17日)	7,806	20	6.7	512.514	3.8	0.5	97.7	256
66期(2020年9月15日)	7,863	20	1.0	517.009	0.9	0.5	97.6	258
67期(2020年10月15日)	7,913	20	0.9	523.947	1.3	0.5	98.0	260
68期(2020年11月16日)	7,997	20	1.3	519.487	△ 0.9	0.4	97.8	224
69期(2020年12月15日)	8,159	20	2.3	527.990	1.6	0.5	97.9	228
70期(2021年1月15日)	8,139	20	0.0	517.547	△ 2.0	0.5	97.7	223
71期(2021年2月15日)	8,198	20	1.0	518.999	0.3	0.5	97.9	230
72期(2021年3月15日)	8,222	20	0.5	520.035	0.2	0.5	97.8	223
73期(2021年4月15日)	8,399	20	2.4	536.083	3.1	0.5	97.9	216
74期(2021年5月17日)	8,339	20	△ 0.5	529.203	△ 1.3	0.6	98.0	211
75期(2021年6月15日)	8,445	20	1.5	537.068	1.5	0.6	98.1	212
76期(2021年7月15日)	8,418	20	△ 0.1	539.756	0.5	0.6	98.3	200
77期(2021年8月16日)	8,419	20	0.2	540.745	0.2	0.7	98.2	169
78期(2021年9月15日)	8,368	20	△ 0.4	541.659	0.2	0.8	98.1	168
79期(2021年10月15日)	8,375	20	0.3	537.935	△ 0.7	0.7	97.9	168
80期(2021年11月15日)	8,248	20	△ 1.3	529.352	△ 1.6	0.5	98.2	165
81期(2021年12月15日)	8,156	20	△ 0.9	528.602	△ 0.1	0.7	98.0	163
82期(2022年1月17日)	8,232	20	1.2	530.239	0.3	0.6	98.2	164
83期(2022年2月15日)	7,747	20	△ 5.6	473.243	△ 10.7	0.8	98.2	149
84期(2022年3月15日)	7,590	20	△ 1.8	464.887	△ 1.8	0.8	98.0	146
85期(2022年4月15日)	7,575	20	0.1	465.941	0.2	0.7	98.2	148
86期(2022年5月16日)	7,085	20	△ 6.2	432.810	△ 7.1	0.4	98.0	127
87期(2022年6月15日)	6,809	20	△ 3.6	430.936	△ 0.4	0.4	101.3	118
88期(2022年7月15日)	7,072	20	4.2	453.209	5.2	0.4	98.0	117
89期(2022年8月15日)	7,513	20	6.5	483.560	6.7	0.4	97.9	124
90期(2022年9月15日)	6,896	20	△ 7.9	437.008	△ 9.6	0.5	98.2	112

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) ICE BofA REIT Preferred Securities Indexは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。ICE BofA REIT Preferred Securities Indexは当該日前営業日の現地終値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み合わせますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		ICE BofA REIT Preferred Securities Index		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率		
第85期	(期 首) 2022年3月15日	円 7,590	% —	ポイント 464.887	% —	% 0.8	% 98.0
	3月末	7,787	2.6	481.207	3.5	0.7	98.2
	(期 末) 2022年4月15日	7,595	0.1	465.941	0.2	0.7	98.2
第86期	(期 首) 2022年4月15日	7,575	—	465.941	—	0.7	98.2
	4月末	7,312	△3.5	445.426	△4.4	0.4	98.2
	(期 末) 2022年5月16日	7,105	△6.2	432.810	△7.1	0.4	98.0
第87期	(期 首) 2022年5月16日	7,085	—	432.810	—	0.4	98.0
	5月末	7,305	3.1	462.393	6.8	0.4	98.1
	(期 末) 2022年6月15日	6,829	△3.6	430.936	△0.4	0.4	101.3
第88期	(期 首) 2022年6月15日	6,809	—	430.936	—	0.4	101.3
	6月末	6,986	2.6	445.816	3.5	0.4	98.0
	(期 末) 2022年7月15日	7,092	4.2	453.209	5.2	0.4	98.0
第89期	(期 首) 2022年7月15日	7,072	—	453.209	—	0.4	98.0
	7月末	7,267	2.8	469.889	3.7	0.4	98.1
	(期 末) 2022年8月15日	7,533	6.5	483.560	6.7	0.4	97.9
第90期	(期 首) 2022年8月15日	7,513	—	483.560	—	0.4	97.9
	8月末	7,197	△4.2	450.495	△6.8	0.5	97.9
	(期 末) 2022年9月15日	6,916	△7.9	437.008	△9.6	0.5	98.2

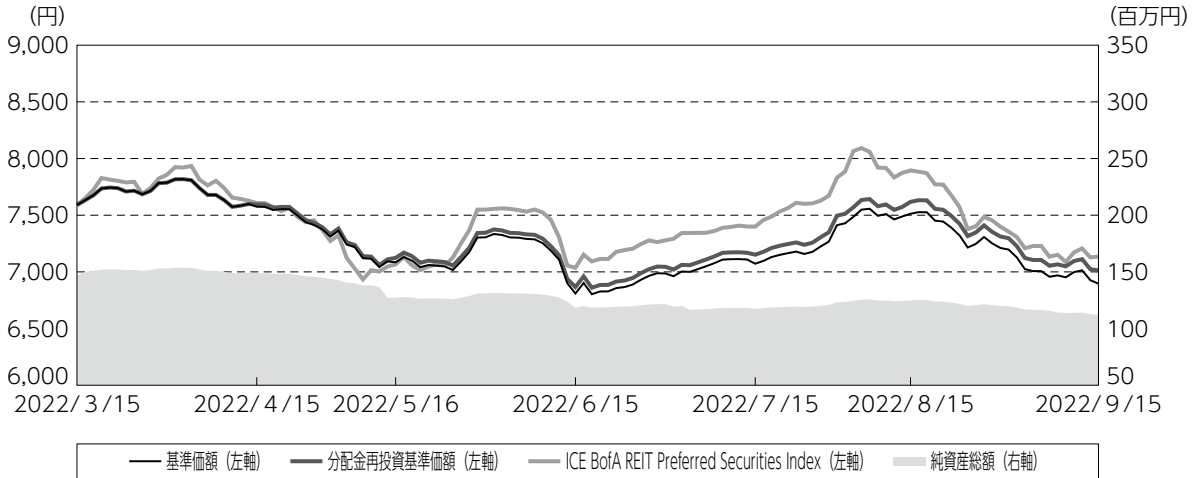
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

ICE BofA REIT Preferred Securities Indexは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（「ICE Data」）及び/又はその第三者サプライヤーの財産であり、岡三アセットマネジメント株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2022年3月16日～2022年9月15日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ICE BofA REIT Preferred Securities Indexです。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2022年3月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・米国優先リートの安定的なインカムゲインがプラスに寄与しました。
- ・特殊用途設備セクターのVICIプロパティーズ（普通リート）やホテル・リゾートセクターのハーシャ・ホスピタリティー・トラスト（シリーズD）などが上昇したことがプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・ホテル・リゾートセクターのサミット・ホテル・プロパティーズ（シリーズF）やショッピング・センターセクターのアースタッド・ビドル・プロパティーズ（シリーズH）などが下落したことがマイナスに影響しました。
- ・為替市場において、対米ドルで円安となったことから、為替ヘッジを行ったことがマイナスに影響しました。

投資環境

（2022年3月16日～2022年9月15日）

米国優先リート市場は、作成期初から2022年4月初めにかけては、3月の米連邦公開市場委員会（FOMC）を無難に通過して市場に安心感が広がったことなどから、上昇しました。しかしその後は、インフレの加速を受けて、米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレを抑制するため積極的に金融引き締めを行うとの見方から、長期金利が上昇したことなどが嫌気され、反落しました。5月中旬以降は、下落する場面もありましたが、急速な利上げに伴う景気悪化への懸念などを背景に、長期金利が概ね低下基調で推移したことなどから、優先リートの高い利回りに着目したと見られる買いが優勢となり、反発しました。8月に入ってからは、堅調な雇用統計などを受けて景気悪化懸念が和らぎ、長期金利が上昇に転じたことから、再び下落しました。8月下旬以降も、パウエルFRB議長が講演でインフレを抑制するために利上げを継続する姿勢を示し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、続落しました。

日本国内の短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続を背景に、1年国債利回りは-0.10%を中心に小幅なレンジで推移する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2022年3月16日～2022年9月15日）

<米国優先リートオープン（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

「NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」を概ね97%以上で組入れ、「マネー・リクイディティ・マザーファンド」とあわせ、高位の組入れを維持しました。

○NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

NB・OAM優先リート・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の取引所に上場している不動産投資信託または不動産投資法人が発行する優先証券に投資し、安定的な収益と投資元本の保全を目指して運用を行いました。また、米国優先リートの組入れを高位で維持する一方、ポートフォリオの流動性と分散効果を考慮し、普通リートを一部組み入れました。

実質組入外貨建資産については、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いました。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

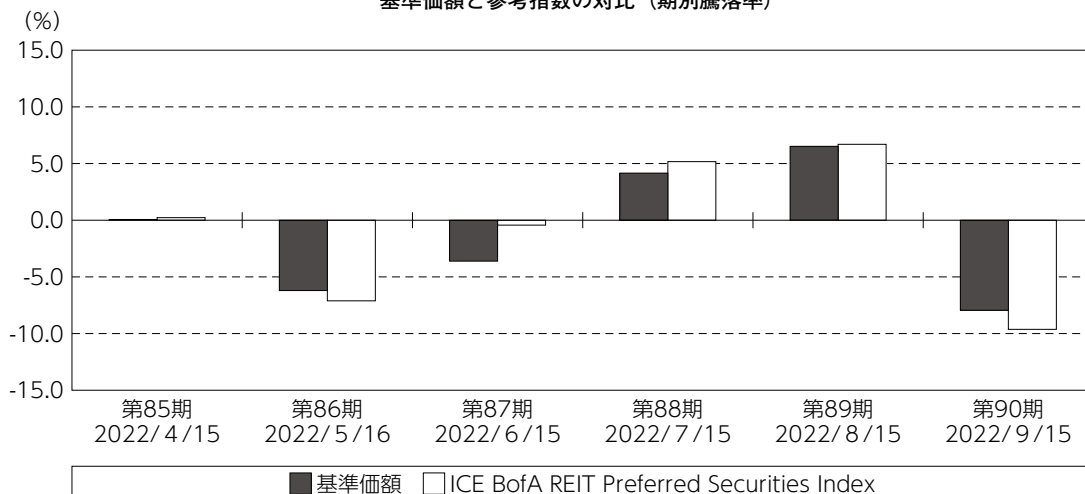
わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行い、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年3月16日～2022年9月15日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているICE BofA REIT Preferred Securities Indexの騰落率を1.6%下回りました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、ICE BofA REIT Preferred Securities Indexです。

分配金

（2022年3月16日～2022年9月15日）

当ファンドは、毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益の範囲として分配を行います。

分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当作成期間につきましては、主に配当等収益と売買益等を原資とし、第85期から第90期において1万口当たり20円（税引前）、合計120円の分配を行いました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	2022年3月16日～ 2022年4月15日	2022年4月16日～ 2022年5月16日	2022年5月17日～ 2022年6月15日	2022年6月16日～ 2022年7月15日	2022年7月16日～ 2022年8月15日	2022年8月16日～ 2022年9月15日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.263%	0.281%	0.293%	0.282%	0.265%	0.289%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,357	1,371	1,383	1,402	1,421	1,433

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

○NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

米国優先リート市場につきましては、インフレ抑制に向けた積極的な利上げ継続に伴う景気悪化への懸念が変動性を高める要因となり、不安定な展開が予想されます。一方、景気悪化懸念の高まりを受けて、長期金利の低下圧力が徐々に強まると見えています。そのため、利回り面での投資の魅力が優先リート市場への資金流入に繋がると考えられます。また、不動産の中長期契約に基づいた賃料収入による安定したキャッシュフローや、インフレへの耐性等を背景とした、リートの業績への期待も支援材料になると考えられます。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

（運用方針）

<米国優先リートオープン（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

「NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」の組入比率を高位に保つことを基本とします。

○NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

NB・OAM優先リート・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の取引所に上場している不動産投資信託または不動産投資法人が発行する優先証券に投資し、安定的な収益と投資元本の保全を目指して運用を行っていく方針です。投資にあたっては、トップダウン分析、セクター・地域分析、ボトムアップ分析をもとに銘柄の選定を行い、個別銘柄の分析においては、経営陣の質や保有資産の価値、財務諸表の健全性、収益力などを基に銘柄の魅力度を総合的に判断して運用を行っていく方針です。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行う方針です。また、米国の経済環境や不動産市場、金融政策の動向などに留意し、優先リートを高位に組み入れて運用する方針です。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年3月16日～2022年9月15日）

項 目	第85期～第90期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	42 (16) (24) (1)	0.571 (0.222) (0.333) (0.017)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	— (—)	— (—)	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均 受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	— (—)	— (—)	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均 受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	42	0.578	
作成期間中の平均基準価額は、7,309円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

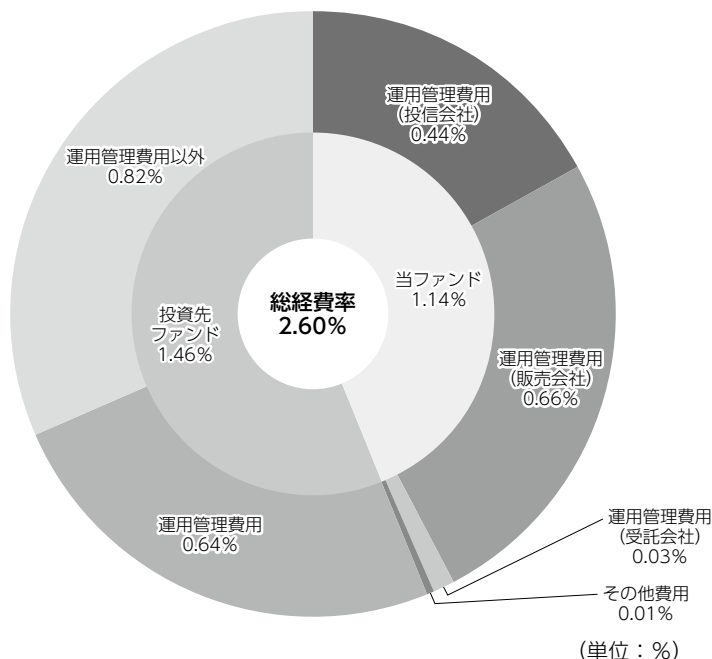
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.60%です。



総経費率 (①+②+③)	2.60
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.82

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月16日～2022年9月15日)

投資信託証券

銘柄		第 85 期 ～ 第 90 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	NB・OAM優先リートファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	4,448,481	3,400 千円	31,747,710	22,500 千円
合 計		4,448,481	3,400	31,747,710	22,500

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未满是切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第 85 期 ～ 第 90 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 650	千円 650

(注) 単位未满是切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月16日～2022年9月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年9月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第 84 期 末	第 90 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
	NB・OAM優先リートファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	186,686,347	159,387,118	110,200 千円	98.2 %
合 計		186,686,347	159,387,118	110,200	98.2

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨て。

親投資信託残高

銘柄		第 84 期 末	第 90 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	千口 1,295	千口 645	千円 644

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨て。

○投資信託財産の構成

（2022年9月15日現在）

項 目	第 90 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 110,200	% 97.2
マ ネ ー ・ リ ク イ デ ィ テ ィ ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	644	0.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,476	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	113,320	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末	第90期末
	2022年4月15日現在	2022年5月16日現在	2022年6月15日現在	2022年7月15日現在	2022年8月15日現在	2022年9月15日現在
(A) 資産	円 149,429,653	円 137,852,276	円 122,597,423	円 118,029,903	円 125,369,069	円 113,320,586
コール・ローン等	1,858,806	2,654,219	2,037,709	2,165,313	2,368,045	2,475,453
投資信託受益証券（評価額）	146,275,837	124,553,048	119,914,770	115,219,646	122,356,144	110,200,253
マネー・リクイディティ・マザーファンド（評価額）	1,295,010	645,009	644,944	644,944	644,880	644,880
未収入金	—	10,000,000	—	—	—	—
(B) 負債	540,611	10,812,484	4,188,492	444,549	450,857	1,134,553
未払収益分配金	393,131	358,629	347,816	332,533	332,533	325,375
未払解約金	—	10,315,013	3,719,544	—	—	693,200
未払信託報酬	145,791	137,249	119,745	110,737	116,966	114,649
未払利息	1	2	1	1	1	2
その他未払費用	1,688	1,591	1,386	1,278	1,357	1,327
(C) 純資産総額（A－B）	148,889,042	127,039,792	118,408,931	117,585,354	124,918,212	112,186,033
元本	196,565,508	179,314,597	173,908,283	166,266,858	166,266,858	162,687,956
次期繰越損益金	△ 47,676,466	△ 52,274,805	△ 55,499,352	△ 48,681,504	△ 41,348,646	△ 50,501,923
(D) 受益権総口数	196,565,508口	179,314,597口	173,908,283口	166,266,858口	166,266,858口	162,687,956口
1万口当たり基準価額（C/D）	7,575円	7,085円	6,809円	7,072円	7,513円	6,896円

（注）純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第85期47,676,466円、第86期52,274,805円、第87期55,499,352円、第88期48,681,504円、第89期41,348,646円、第90期50,501,923円です。

（注）計算期間末における1口当たりの純資産額は、第85期0.7575円、第86期0.7085円、第87期0.6809円、第88期0.7072円、第89期0.7513円、第90期0.6896円です。

（注）当ファンドの第85期首元本額は193,504,464円、第85～90期中追加設定元本額は3,061,044円、第85～90期中一部解約元本額は33,877,552円です。

○損益の状況

項 目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	2022年3月16日～ 2022年4月15日	2022年4月16日～ 2022年5月16日	2022年5月17日～ 2022年6月15日	2022年6月16日～ 2022年7月15日	2022年7月16日～ 2022年8月15日	2022年8月16日～ 2022年9月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	759,563	706,284	679,206	647,272	647,280	643,988
受取配当金	759,569	706,322	679,253	647,301	647,301	644,041
受取利息	—	—	3	—	1	—
支払利息	△ 6	△ 38	△ 50	△ 29	△ 22	△ 53
(B) 有価証券売買損益	△ 522,129	△ 9,024,950	△ 5,021,096	4,164,698	7,136,434	△10,252,928
売買益	—	893,018	117,247	4,304,876	7,136,498	200,879
売買損	△ 522,129	△ 9,917,968	△ 5,138,343	△ 140,178	△ 64	△10,453,807
(C) 信託報酬等	△ 147,481	△ 138,840	△ 121,132	△ 112,015	△ 118,323	△ 115,976
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	89,953	△ 8,457,506	△ 4,463,022	4,699,955	7,665,391	△ 9,724,916
(E) 前期繰越損益金	△32,351,773	△29,755,455	△37,398,470	△40,342,851	△35,975,429	△28,019,056
(F) 追加信託差損益金	△15,021,515	△13,703,215	△13,290,044	△12,706,075	△12,706,075	△12,432,576
(配当等相当額)	(15,609,437)	(14,239,541)	(13,810,198)	(13,203,374)	(13,203,374)	(12,919,172)
(売買損益相当額)	(△30,630,952)	(△27,942,756)	(△27,100,242)	(△25,909,449)	(△25,909,449)	(△25,351,748)
(G) 計 (D+E+F)	△47,283,335	△51,916,176	△55,151,536	△48,348,971	△41,016,113	△50,176,548
(H) 収益分配金	△ 393,131	△ 358,629	△ 347,816	△ 332,533	△ 332,533	△ 325,375
次期繰越損益金 (G+H)	△47,676,466	△52,274,805	△55,499,352	△48,681,504	△41,348,646	△50,501,923
追加信託差損益金	△15,021,515	△13,703,215	△13,290,044	△12,706,075	△12,706,075	△12,432,576
(配当等相当額)	(15,609,437)	(14,239,541)	(13,810,198)	(13,203,374)	(13,203,374)	(12,919,172)
(売買損益相当額)	(△30,630,952)	(△27,942,756)	(△27,100,242)	(△25,909,449)	(△25,909,449)	(△25,351,748)
分配準備積立金	11,078,674	10,349,177	10,257,826	10,118,845	10,424,121	10,409,748
繰越損益金	△43,733,625	△48,920,767	△52,467,134	△46,094,274	△39,066,692	△48,479,095

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
(a) 配当等収益(費用控除後)	612,686円	567,732円	558,376円	632,516円	637,809円	528,397円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	15,609,437円	14,239,541円	13,810,198円	13,203,374円	13,203,374円	12,919,172円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	10,859,119円	10,140,074円	10,047,266円	9,818,862円	10,118,845円	10,206,726円
分配対象収益(a+b+c+d)	27,081,242円	24,947,347円	24,415,840円	23,654,752円	23,960,028円	23,654,295円
分配対象収益(1万口当たり)	1,377円	1,391円	1,403円	1,422円	1,441円	1,453円
分配金額	393,131円	358,629円	347,816円	332,533円	332,533円	325,375円
分配金額(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
1 万口当たり分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2022年9月15日現在）

<マネー・リクイディティ・マザーファンド>

下記は、マネー・リクイディティ・マザーファンド全体（347,277千円）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	第 90 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	313,000 (313,000)	314,181 (314,181)	90.5 (90.5)	— (—)	— (—)	— (—)	90.5 (90.5)
合 計	313,000 (313,000)	314,181 (314,181)	90.5 (90.5)	— (—)	— (—)	— (—)	90.5 (90.5)

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	第 90 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券(除く金融債)		%	千円	千円	
第2回政府保証新関西国際空港債券		0.882	50,000	50,365	2023/6/27
第175回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		0.791	50,000	50,052	2022/10/31
第180回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		0.734	50,000	50,111	2022/12/28
第182回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		0.834	50,000	50,172	2023/1/31
第40回政府保証地方公共団体金融機構債券		0.819	3,000	3,000	2022/9/16
第41回政府保証地方公共団体金融機構債券		0.791	4,000	4,002	2022/10/18
第42回政府保証地方公共団体金融機構債券		0.805	56,000	56,081	2022/11/14
第51回政府保証地方公共団体金融機構債券		0.835	50,000	50,394	2023/8/14
合 計			313,000	314,181	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

〈参考情報〉

NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

〈当ファンドの仕組みは次の通りです〉

運用会社	ニューバーガー・バーマン株式会社
主な投資対象	NB・OAM優先リート・マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を主要投資対象とします。
運用方針	この投資信託は、マザーファンドへの投資を通じて、実質的に主に米国優先リートから構成されるポートフォリオを構築し、安定したインカムゲインの確保による信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
為替ヘッジ	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
主要な投資制限	①マザーファンドの受益証券の投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産の実質投資割合には制限を設けません。 ③外貨建資産への直接投資は行いません。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。

NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○損益の状況

項 目	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期
	2022年3月9日～ 2022年4月8日	2022年4月9日～ 2022年5月9日	2022年5月10日～ 2022年6月8日	2022年6月9日～ 2022年7月8日	2022年7月9日～ 2022年8月8日	2022年8月9日～ 2022年9月8日
(A) 有価証券売買損益	1,736,821	△ 8,270,503	1,757,009	△ 2,887,242	7,544,399	△ 8,144,754
売買益	12,291,067	680,751	24,757,887	848,537	7,753,161	9,199,086
売買損	△10,554,246	△ 8,951,254	△23,000,878	△ 3,735,779	△ 208,762	△17,343,840
(B) 信託報酬等	△ 167,918	△ 165,089	△ 151,310	△ 148,751	△ 148,724	△ 154,573
(C) 当期損益金(A+B)	1,568,903	△ 8,435,592	1,605,699	△ 3,032,993	7,395,675	△ 8,299,327
(D) 前期繰越損益金	△40,888,027	△39,571,302	△45,128,338	△40,626,002	△44,306,296	△37,496,279
(E) 追加信託差損益金	△ 2,297,227	△ 2,388,052	△ 2,210,239	△ 2,579,450	△ 2,579,450	△ 2,641,093
(配当等相当額)	(3,854,436)	(3,838,755)	(3,553,947)	(2,976,164)	(2,979,615)	(2,917,972)
(売買損益相当額)	(△ 6,151,663)	(△ 6,226,807)	(△ 5,764,186)	(△ 5,559,614)	(△ 5,559,065)	(△ 5,559,065)
(F) 計(C+D+E)	△41,616,351	△50,394,946	△45,732,878	△46,238,445	△39,490,071	△48,436,699
(G) 収益分配金	△ 759,569	△ 752,012	△ 696,021	△ 647,301	△ 647,301	△ 647,301
次期繰越損益金(F+G)	△42,375,920	△51,146,958	△46,428,899	△46,885,746	△40,137,372	△49,084,000
追加信託差損益金	△ 2,297,227	△ 2,388,052	△ 2,564,011	△ 2,579,450	△ 2,641,093	△ 3,263,259
(配当等相当額)	(3,875,704)	(3,839,862)	(3,200,175)	(2,979,615)	(2,917,972)	(2,295,806)
(売買損益相当額)	(△ 6,172,931)	(△ 6,227,914)	(△ 5,764,186)	(△ 5,559,065)	(△ 5,559,065)	(△ 5,559,065)
分配準備積立金	593,330	90,247	—	390,821	—	—
繰越損益金	△40,672,023	△48,849,153	△43,864,888	△44,697,117	△37,496,279	△45,820,741

○組入資産の明細

(2022年9月8日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第 63 期 末		第 69 期 末	
	口	数	口	数
NB・OAM優先リート・マザーファンド		千口		千口
		129,725		91,990
				千円
				123,129

<参考情報>

NB・OAM優先リート・マザーファンド

<当ファンドの仕組みは次の通りです>

運用会社	ニューバーガー・バーマン株式会社
主な投資対象	米国の金融商品取引所等（これに準じるものを含みます。）に上場（上場予定を含みます。）している不動産投資信託及び不動産投資法人が発行する優先リートを主要投資対象とします。また、普通リートにも投資することがあります。
運用方針	この投資信託は、主に米国優先リートから構成されるポートフォリオを構築し、安定したインカムゲインの確保による信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
投資態度	外貨建資産の運用の指図に係る権限をニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーに委託します。 ①主として米国の金融商品取引所に上場している優先リートへの投資を通じ、安定したインカムリターン確保による中期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。また、普通リートにも投資することがあります。 ②優先リートおよび普通リートへの投資割合は、原則として高位を維持します。 ③組入外貨建資産に対する為替ヘッジは、原則として行いません。 ④資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等並びに投資信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。
主な投資制限	外貨建資産の投資割合には制限を設けません。

NB・OAM優先リート・マザーファンド

○損益の状況（2020年12月9日～2021年12月8日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	167,724,955
受取配当金	167,716,961
受取利息	7,994
(B) 有価証券売買損益	282,289,580
売買益	378,669,368
売買損	△ 96,379,788
(C) 信託報酬等	△ 789,856
(D) 当期損益金(A+B+C)	449,224,679
(E) 前期繰越損益金	45,196,658
(F) 追加信託差損益金	10,623,759
(G) 解約差損益金	△205,283,934
(H) 計(D+E+F+G)	299,761,162
次期繰越損益金(H)	299,761,162

○組入資産の明細

(2021年12月8日現在)

外国投資信託証券

銘柄	当期				比率
	口数	評価額		金額	
		外貨	建金		
(アメリカ)	口	千ドル	千円		%
AGREE REALTY CORP	9,000	219	24,929		1.2
AMERICAN HOMES 4 RENT AMH 5 7/8 PER	17,904	457	52,013		2.6
AMERICAN HOMES 4 RENT AMH 5 7/8 PER	29,413	766	87,085		4.3
ARMADA HOFFLER PROPRTIE	10,600	275	31,239		1.5
BLUEROCK RSDTL GR REIT	4,526	114	13,031		0.6
CEDAR REALTY TRUST INC	13,141	326	37,034		1.8
DIAMONDROCK HOSPITALITY	11,000	293	33,280		1.6
DIGITAL REALTY TRUST INC	38,978	1,052	119,521		5.9
DIGITAL REALTY TRUST INC	9,000	248	28,226		1.4
DIGITAL REALTY TRUST INC	16,348	424	48,161		2.4
DIGITALBRIDGE GROUP INC	25,509	648	73,643		3.6
EPR PROPERTIES PFD	2,400	60	6,868		0.3
FEDERAL REALTY INVESTMENT	10,640	272	30,910		1.5
GLOBAL NET LEASE INC	3,291	85	9,682		0.5
Hersha Hospitality Trust 6 7/8 % Cum Red	13,886	328	37,281		1.8
Hersha Hospitality Trust	25,780	590	67,105		3.3
HUDSON PACIFIC PROPRTIE	7,562	192	21,899		1.1
IRON MOUNTAIN INCORPORATED REIT NEW	2,412	115	13,165		0.6
Kimco Realty Corporation	6,569	155	17,614		0.9
KIMCO RLTY CORP PFD RED CL-M	17,271	450	51,194		2.5
Omega Healthcare Investors, Inc.	4,084	116	13,223		0.6
PS BUSINESS PARKS INC	15,196	409	46,527		2.3
PS BUSINESS PARKS INC PSB 5.2 PERP	8,600	223	25,364		1.2
PS BUSINESS PARKS INC	4,800	124	14,129		0.7
PEBBLEBROOK HOTEL TR (PFD) 6.375	30,589	761	86,502		4.2
PEBBLEBROOK HOTEL TR (PFD) 6.3	3,634	90	10,251		0.5
PEBBLEBROOK HOTEL TRUST	3,800	96	10,931		0.5
PEBBLEBROOK HOTEL TRUST	2,000	49	5,576		0.3
PUBLIC STORAGE	1,500	37	4,258		0.2
PUBLIC STORAGE	2,900	74	8,428		0.4
PUBLIC STORAGE	10,232	271	30,840		1.5
PUBLIC STORAGE	26,600	699	79,451		3.9
PUBLIC STORAGE	9,100	242	27,573		1.4
PUBLIC STORAGE PSA 5.05 12/31/49	24,288	624	70,945		3.5
REXFORD INDUSTRIAL REALT REXR 5 7/8	4,000	104	11,811		0.6
REXFORD INDUSTRIAL REALT	14,900	391	44,470		2.2
SL Green Realty Corporation 6 1/2 % Cum	21,892	575	65,389		3.2
SAUL CENTERS INC	4,400	114	12,967		0.6
SAUL CENTERS INC	17,100	465	52,901		2.6

NB・OAM優先リート・マザーファンド

銘 柄	当 期 末			
	口 数	評 価 額		比 率
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
SERITAGE GROWTH PROPERTY	11,718	280	31,813	1.6
Simon Property Group, Inc.	850	132	15,083	0.7
SITE CENTERS CORP(PFD) SERIES A	26,648	678	77,052	3.8
SPIRIT REALTY CAPITAL IN	18,450	476	54,081	2.7
SPIRIT REALTY CAPITAL INC	2,400	111	12,685	0.6
STAG Industrial, Inc.	2,354	104	11,846	0.6
SUMMIT HOTEL PROPERTIES	26,600	665	75,554	3.7
SUMMIT HOTEL PROPERTIES	15,609	395	44,876	2.2
SUNSTONE HOTEL INVESTORS	2,000	50	5,737	0.3
UMH Properties Inc 6.75	30,849	788	89,514	4.4
UMH Properties Inc 6.375	30,300	782	88,885	4.4
URSTADT BIDDLE PROPERTIE	9,750	249	28,327	1.4
URSTADT BIDDLE PROPERTIE	23,128	592	67,242	3.3
Ventas, Inc.	2,829	139	15,878	0.8
VICI PROPERTIES INC	5,184	146	16,602	0.8
VORNADO REALTY TRUST	8,985	222	25,306	1.2
VORNADO REALTY TRUST VNO 0 PERP	4,816	123	14,062	0.7
Vornado Realty Trust L	20,641	522	59,331	2.9
合 計	口 数 ・ 金 額	727,956	19,013	2,159,316
	銘 柄 数<比 率>	57	—	<106.1%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別投資信託証券評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

マナー・リクイディティ・マザーファンド

第12期 運用状況のご報告

決算日：2022年7月19日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期	中			
	円		%	%	%	百万円
8期(2018年7月17日)	10,025		△0.1	64.8	—	155
9期(2019年7月17日)	10,018		△0.1	68.7	—	146
10期(2020年7月17日)	10,010		△0.1	94.6	—	142
11期(2021年7月19日)	10,004		△0.1	98.5	—	142
12期(2022年7月19日)	9,998		△0.1	80.0	—	329

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

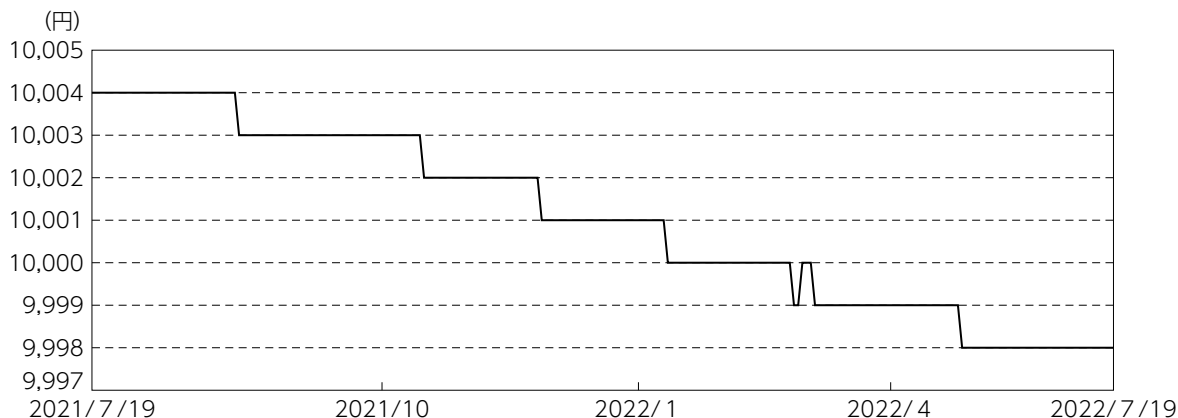
年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率	債券先物比率
		騰	落		
(期首) 2021年7月19日	円 10,004		% —	% 98.5	% —
7月末	10,004		0.0	98.5	—
8月末	10,004		0.0	98.1	—
9月末	10,003		△0.0	98.0	—
10月末	10,003		△0.0	76.2	—
11月末	10,002		△0.0	69.8	—
12月末	10,001		△0.0	79.8	—
2022年1月末	10,001		△0.0	78.0	—
2月末	10,000		△0.0	77.8	—
3月末	10,000		△0.0	83.6	—
4月末	9,999		△0.0	80.8	—
5月末	9,998		△0.1	80.8	—
6月末	9,998		△0.1	80.1	—
(期末) 2022年7月19日	9,998		△0.1	80.0	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額の推移

(2021年7月20日～2022年7月19日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・日銀のマイナス金利政策の影響により、市中金利がマイナス圏で推移したことが、マイナスに影響しました。

投資環境

(2021年7月20日～2022年7月19日)

短期金融市場では、日銀がマイナス金利政策を継続していることから、1年国債利回りは-0.10%を中心に小幅なレンジで推移する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年7月20日～2022年7月19日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年7月20日～2022年7月19日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2021年7月20日～2022年7月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.001 (0.001)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、10,001円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月20日～2022年7月19日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	特殊債券	千円 264,791	千円 — (140,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月20日～2022年7月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年7月19日現在)

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	263,000 (263,000)	263,742 (263,742)	80.0 (80.0)	— (—)	— (—)	— (—)	80.0 (80.0)
合 計	263,000 (263,000)	263,742 (263,742)	80.0 (80.0)	— (—)	— (—)	— (—)	80.0 (80.0)

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券（除く金融債）	%	千円	千円	
第175回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.791	50,000	50,118	2022/10/31
第180回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.734	50,000	50,173	2022/12/28
第182回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.834	50,000	50,244	2023/1/31
第39回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.801	50,000	50,032	2022/8/15
第40回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.819	3,000	3,004	2022/9/16
第41回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.791	4,000	4,007	2022/10/18
第42回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.805	56,000	56,160	2022/11/14
合 計		263,000	263,742	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年7月19日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円 263,742		% 80.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	65,851		20.0
投 資 信 託 財 産 総 額	329,593		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	329,593,989
コール・ローン等	64,994,698
公社債(評価額)	263,742,068
未収利息	655,218
前払費用	202,005
(B) 負債	424
未払利息	76
その他未払費用	348
(C) 純資産総額(A-B)	329,593,565
元本	329,672,325
次期繰越損益金	△ 78,760
(D) 受益権総口数	329,672,325口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,998円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は78,760円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9998円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は142,536,794円、期中追加設定元本額は197,772,028円、期中一部解約元本額は10,636,497円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

米国ネクストビジョンファンド (為替ヘッジなし)	178,323,863円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) ユーロコース	94,638,188円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) 円コース	26,700,315円
米国ネクストビジョンファンド (為替ヘッジあり)	8,748,406円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) ユーロコース	7,068,611円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	6,944,115円
ESG海洋関連株式ファンド (愛称「海」)	3,400,442円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) 円コース	3,203,311円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	645,074円

○損益の状況 (2021年7月20日～2022年7月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,350,519
受取利息	1,360,337
支払利息	△ 9,818
(B) 有価証券売買損益	△1,510,154
売買損	△1,510,154
(C) その他費用等	△ 3,610
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 163,245
(E) 前期繰越損益金	58,821
(F) 追加信託差損益金	25,792
(G) 解約差損益金	△ 128
(H) 計(D+E+F+G)	△ 78,760
次期繰越損益金(H)	△ 78,760

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。